

2018年度 第1四半期 決算概要

2018年5月9日
サントリー食品インターナショナル株式会社

SUNTORY
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

©2018 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

稲田でございます。
私から2018年度第1四半期決算について、ご説明させていただきます。

アジアが牽引し増収。加工食品事業の売却益が寄与し、増益

	2017年 1－3月期	2018年 1－3月期	対前年		
			増減 (億円)	増減率	為替中立
売上収益	2,683 億円	2,771 億円	+88	+3.3%	+2.3%
営業利益	209 億円	266 億円	+57	+27.0%	+24.3%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	131 億円	205 億円	+74	+57.0%	+53.0%

売上収益は、前年同期に比べて3.3%増の2,771億円、
営業利益は、27.0%増の266億円、
親会社の所有者に帰属する四半期利益は、57.0%増の205億円となりました。
なお、当決算でご報告する数値は、すべてIFRSベースの数値となります。

この3ヶ月の間に、欧州や米州の天候不順などがありましたが、
加工食品事業の売却益もあり、増収増益を達成することができました。

	売上収益	対前年			セグメント 利益	対前年		
		増減 (億円)	増減率	為替中立		増減 (億円)	増減率	為替中立
日本	1,505 億円	+32	+2.1%	—	52 億円	△30	△36.6%	—
欧州	518	+23	+4.6%	△3.1%	37	△12	△24.4%	△30.1%
アジア	443	+50	+12.7%	+13.5%	175	+101	+136.5%	+131.2%
オセアニア	136	△1	△0.7%	+0.4%	15	+1	+7.6%	+5.4%
米州	170	△15	△8.2%	△3.7%	15	+0	+0.2%	+5.1%
調整額	—	—	—	—	△28	△4	—	—
連結	2,771	+88	+3.3%	+2.3%	266	+57	+27.0%	+24.3%

次に、セグメント別の売上収益および利益です。

売上収益、利益ともに、セグメント毎にばらつきがありますが、主にアジアが牽引する形となりました。

次のページから、各セグメントについて詳しくご説明します。

主要ブランドが好調で増収。利益は当初想定内

売上収益

増減率

1,505 億円 +2.1%

セグメント利益

増減率

52 億円 Δ 36.6%

- 売上数量は、水・コーヒー・無糖茶カテゴリーへの注力が奏功し3%増
- 商品構成の変化・一時的なコストの発生（最盛期に向けた供給準備）等で利益へのマイナス影響があった。減益幅は当初想定内



©2018 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

4

まず、日本です。

売上収益は対前年2.1%増の1,505億円となりました。1-3月の市場は2%増と推定されるなか、当社の売上数量は年初に掲げた方針である「水・コーヒー・無糖茶カテゴリーへの注力」が功を奏し、3%増となりました。

一方で

- ・ トクホ商品の販売減等による商品構成の悪化がありました。
 - ・ さらに、最盛期に向けた供給準備のため、在庫の積み増しによる一時的なコストが発生しました。
- また売上成長に向けた積極的なマーケティング投資によるコスト増等もあり、利益は対前年36.6%減の52億円となりました。

ただし、利益減の主な要因は元々想定しており、年間予想を見据えたなかでは、想定の範囲内です。



**サントリー
天然水**

1-3月販売数量
(対前年+8%)



ボス

1-3月販売数量
(対前年+6%)



無糖茶

1-3月販売数量
(対前年+3%)

第2四半期の新商品



4月24日
新発売

南アルプススパークリング



6月19日
新発売

クラフトボス ブラウン



4月3日
新発売

おいしい腸活流々茶^{るる}※
※機能性表示食品

次に、日本における注力カテゴリの状況についてご説明します。

「サントリー天然水」は主力のミネラルウォーターが好調に推移しました。加えて3月に発売した「奥大山のブルーベリーヨーグリーナ&サントリー天然水」も寄与し、ブランド全体での販売数量が前年対比で8%増となりました。

「BOSS」は既存の缶コーヒーのコアユーザーにむけた積極的なマーケティング活動に加えて、昨年発売し、新たなコーヒーユーザーを獲得している「クラフトボス」が好調に推移しており、ブランド全体の販売数量が前年対比で6%増となりました。

無糖茶カテゴリにおいても、3月に「伊右衛門」の中味・パッケージをリニューアルした他、拡大する麦茶市場で「GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」が大きく伸長するなど、ウーロン茶を含む無糖茶カテゴリでは対前年3%増となりました。

これらの結果、第1四半期の販売数量は市場を上回る成長を達成しました。第2四半期以降も、新商品の発売等、「水・コーヒー・無糖茶カテゴリへの注力」を継続してまいります。

寒波による市場減速に加え、英国「Lucozade Energy」の売上減で、減収減益

売上収益

518 億円

為替中立
増減率

△3.1%

セグメント利益

37 億円

為替中立
増減率

△30.1%

売上

為替中立
増減率

フランス (*1)	216億円	+0.1%	寒波による市場減速の影響で一部主力ブランドが前年割れも、MayTeaが大きく伸長
英国 (*2)	136億円	△9.0%	寒波の影響に加え、Lucozade Energyが引き続き前年割れ
スペイン (*3)	102億円	△6.2%	天候要因に加え、競合激化の影響で減収



(*1) フランス、ベルギー (*2) 英国、アイルランド (*3) スペイン、ポルトガル

©2018 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

6

次に欧州です。

欧州は、2月下旬から3月上旬に発生した大寒波の影響で市場が減速し、当社も、その影響を受けました。また、低糖レシピに変更した英国の

「Lucozade Energy」が前年割れとなった結果、売上収益は対前年3.1%減の518億円、セグメント利益は対前年30.1%減の37億円となりました。

フランスは、市場減速の影響で一部主力ブランドが前年同期を下回りましたが、「MayTea」が大きく伸長し、売上は前年並となりました。

英国は、「Lucozade Energy」が前年を下回りました。

スペインは、天候要因に加えて競合激化の影響もあり、減収となりました。

MayTea

- 販売は順調に拡大。
- フランスで新たなフレーバーを投入するとともに、ベルギー(1月)、スペイン(3月)でも新たに発売。



Lucozade Energy

- 英国の砂糖税は、4月6日に予定通り導入済。導入後の市場動向はまだ定まっていない状況。
- Lucozadeは、今後も積極的なプロモーションを展開し、新規ユーザー獲得によるブランド強化を図る。



ここで、欧州の低糖商品に関する取組みについてご説明します。

まず、低糖のプレミアムアイスティー「MayTea」です。当社のポートフォリオ変革をリードする商品に育成すべく、積極的なマーケティング活動を進めているブランドです。今期、フランスでは新たなフレーバーを発売。RTD Tea市場の伸長もあり、大変好調に推移しました。また、新たな市場へのチャレンジとして、ベルギーで1月、スペインで3月に新たに発売しました。今後、これらの国でも積極的なプロモーションを展開していく予定です。

次に、英国の「Lucozade Energy」についてです。英国子会社のLucozade Ribena Suntoryが、2016年に健康関連のステートメントを発表しました。その方針の一環として、昨年4月に主力商品の「Lucozade Energy」を低糖のレシピへと見直しました。この変更の影響から、今年の3月まで苦戦が続き、「Lucozade」は、1-3月の前年比が88%となりました。英国では、4月6日に砂糖税が導入されましたが、増税前に在庫を積み増したブランドもあり、現時点では店頭価格も安定しておらず、市場や消費者の動向はまだ定まっていない状況です。今後、積極的なマーケティング活動を展開し、売上の回復に取り組めます。

飲料事業が牽引し増収。加工食品事業の売却益により増益

売上収益

443 億円

為替中立
増減率

+13.5%

セグメント利益

175 億円

為替中立
増減率

+131.2%

売上

為替中立
増減率飲料
(ベトナム)

175億円

+11.2%

主力の炭酸飲料が好調で、大幅伸長

健康食品

138億円

△3.6%

昨年のディストリビューター変更による
一時的な販売増の反動で、減収

次にアジアです。

アジアは、既存の飲料事業が好調に推移したことに加え、タイにおいてペプシコとの新たな合弁事業を開始したことから、売上収益は対前年13.5%増の443億円となりました。

また、加工食品事業の売却益を計上した結果、セグメント利益は、131.2%増の175億円と、大幅増益となりました。

ベトナムは、主力の炭酸飲料が好調に推移し、売上が大幅に伸長しました。健康食品事業は、昨年のディストリビューター変更による、一時的な販売増の反動で売上が前年を下回りました。

- タイにおいて、新たな合弁会社
Suntory PepsiCo Beverage (Thailand) Co., Ltd.
が、3月5日に事業を開始
- ペプシコとの合弁会社で、当社が51%を保有
- ベトナムの合弁会社で培ったガバナンスの
ノウハウを活かして、売上・利益の伸長を図る



3月5日にタイにおいて、ペプシコとの合弁会社で、当社が51%を保有する「Suntory PepsiCo Beverage (Thailand) Co., Ltd.」が事業を開始しました。現地の新聞でも大きく取り上げられるなど、注目を集めております。

ペプシコとは、同じアジアにおいてベトナムでも合弁事業を展開しております。ベトナムでは、合弁事業開始からこれまでの5年間で、事業規模も順調に拡大してきました。タイにおいても、ベトナムで培ったノウハウを活かして、ペプシコ社の強固な流通基盤と、当社の強みである非炭酸商品による事業拡大により、売上・利益の伸長を図ります。

《オセアニア》

フルコアサントリー、フレッシュコーヒー事業ともに、堅調に推移

売上収益

136 億円

為替中立
増減率

+0.4%

セグメント利益

15 億円

為替中立
増減率

+5.4%

	売上	為替中立 増減率	
フルコアサントリー	105億円	+0.2%	エネルギー飲料が好調
フレッシュコーヒー事業	31億円	+1.1%	堅調に推移

《米州》

天候要因と競合激化により減収だが、コスト削減を推進

売上収益

170 億円

為替中立
増減率

△3.7%

セグメント利益

15 億円

為替中立
増減率

+5.1%

最後に、オセアニアと米州です。

オセアニアでは、フルコアサントリーがエネルギー飲料を中心に回復基調にあり、売上収益が前年を上回りました。

また当期からオセアニアに移管されたフレッシュコーヒー事業も堅調に推移し、オセアニア全体で増収増益となりました。

米州では、天候不順による市場の減速に加えて、引き続き競合環境が厳しく、売上は前年を下回りましたが、コスト削減の取り組みを一段と推進し、増益を確保しました。

SUNTORY

SUNTORY BEVERAGE & FOOD

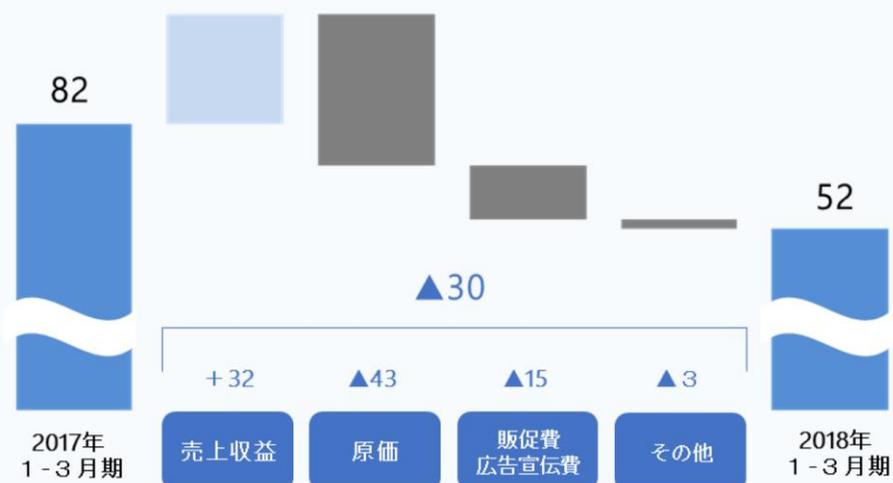
©2018 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

ここまでセグメント別にご説明させていただきました。
これから最盛期を迎えますが、年初に掲げた経営方針に沿った活動を
継続しつつ、各エリアの実情に即して迅速な対応を取ることで、
年間業績予想の達成を目指してまいります。

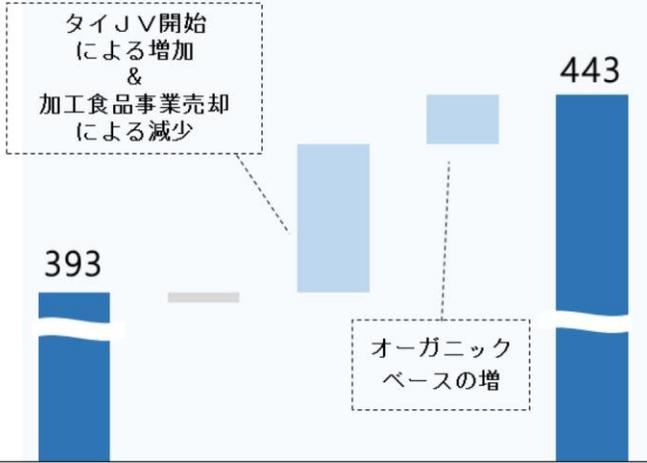
私からの説明は以上です。

利益増減要因

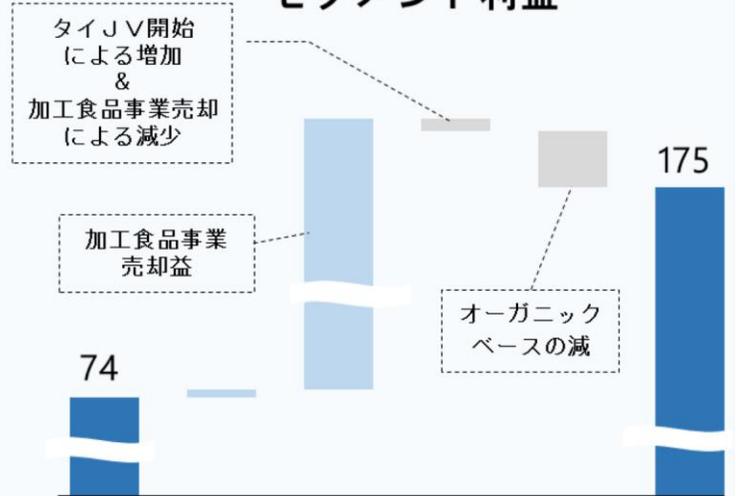
(億円)



売上収益



セグメント利益



2017年 1-3月期 **為替影響** **タイJV & 加食売却** **オーガニック** 2018年 1-3月期

2017年 1-3月期 **為替影響** **加食売却益** **タイJV & 加食売却** **オーガニック** 2018年 1-3月期

	2017年 実績	2018年 予想	対前年		
			増減 (億円)	増減率	為替中立
売上収益	12,340 億円	12,930 億円	+590	+4.8%	+4.6%
営業利益	1,180 億円	1,270 億円	+90	+7.7%	+7.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	781 億円	800 億円	+19	+2.4%	+2.0%

■ 2018年度 業績予想 (セグメント別)

	売上収益	対前年			セグメント 利益	対前年		
		増減 (億円)	増減率	為替中立		増減 (億円)	増減率	為替中立
日本	6,930 億円	+38	+0.6%	—	585 億円	+12	+2.1%	—
欧州	2,550	+161	+6.7%	+4.5%	340	△6	△1.7%	△3.5%
アジア	2,000	+365	+22.3%	+23.6%	310	+88	+39.8%	+40.4%
オセアニア	580	+17	+3.0%	+2.6%	67	+7	+11.4%	+8.9%
米州	870	+10	+1.1%	+3.1%	93	+0	+0.0%	+2.0%
調整額	—	—	—	—	△125	△11	—	—
連結	12,930	+590	+4.8%	+4.6%	1,270	+90	+7.7%	+7.3%

■ 主要為替レート

	2017年 1-3月	2018年 1-3月	2018年 年間予想
米ドル	113.6	108.2	110
ユーロ	121.0	133.1	131
英ポンド	140.7	150.8	142
シンガポールドル	80.2	82.1	81
タイバーツ	3.2	3.4	3.3
ベトナムドン	0.0050	0.0048	0.0048
ニュージーランドドル	80.9	78.8	79
豪ドル	86.2	85.2	87

■ 本資料取扱上の注意点

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。

本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。

当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。